



一般社団法人

東京キワニスクラブ

ACTIVITY **REPORT**Vol. **48**

2026.05 発行

**第1回 子どもの未来を拓くボランティア活動賞を創設****2025.10.17**

初の「子どもの未来を拓くボランティア活動賞（活動賞）」の表彰式を行いました。

この活動賞は、前年までの「青少年教育賞」を衣替えしたもので、今年度が第1回目の表彰となります。

活動賞は、東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市面瀬地区の小学生を対象に宿題指導や体験学習などを通じた居場所支援活動を行っている「中央大学ボランティアセンター公認学生団体面瀬学習支援」が受賞、特別賞が「国本学園国本小学校（世田谷区）」に授与されました。表彰式

には、受賞者の皆様も参加され、鳥居会長（当時）から表彰状の贈呈を受けた後に、それぞれの活動紹介を行いました。受賞された皆様に対して改めてお祝いの申し上げるとともに、今後ますますのご活躍を期待します。（井上淳）

**これまでの顕彰活動**

東京キワニスでは、社会公益のために世間に知られず、酬いられることも少なく永い間献身的苦勞を続けている人達を顕彰する「社会公益賞（1966年～2024年）」や日本又は海外の青少年の健全な育成に努めている学生主体のボランティア団体等を顕彰する「青少年教育賞（1985年～2024年）」をはじめとした顕彰活動を実施してきました。これまで150を超える団体・個人が受賞しています。



面瀬学習支援



国本小学校

**新会長挨拶****「ともに育つ 世界の子どもたちの為に」 山田明彦****2025.11.28就任**

新会長

**山田 明彦**

キワニスクラブは約110年前にアメリカデトロイトで誕生した世界的民間奉仕団体で、東京キワニスは1964年にアジア太平洋地域で最初に設立されました。現在約100名の会員が在籍し、官公庁や民間企業のOB、企業経営者から、弁護士、裁判官まで多士済済のメンバー構成です。

特にユニークな社会貢献は、キワニスドールという手作りの人形を小児医療施設に贈り続ける活動で、テレビの情報番組でも紹介され、大きな話題となりました。また春夏に開催する子ども食堂や、土曜日の小学生の居場所である寺子屋の活動は、地域と協力して続けている私たちの代表的なボランティア活動です。

「ともに育つ、楽しい仲間との世代を超えたコミュニケーション、楽しみながらのボランティア活動の実践」これらをメインコンセプトに、未来の子どもたちのためにナイススマイルでキワニスブランドを輝かせて参ります。



## キワニスドール事業の充実、 発展に向けて



キワニスドールは様々な形で作られています。2025年8月から26年3月の間、委員が指導に向きキワニスドールをつくる会は、企業にて7回、学校関係にて3回実施しました。一方、ドールの贈呈は460個いたしました。

「つくる会」を年中行事のように実施している団体は多く、なかでも株式会社ジェーシービーでは、2011年より定期的に開催していただいております。

TV会議で複数会場をつなぎ、社内でも人気の高い取り組みとなっており、参加回数に応じた色違いのキワニスバッジを楽しみにされている方も多そうです。ONEジャパンでは終了後に恒例の懇親会が開かれましたが、他にも「つくる会」が社員交流に利用されました。東京家政学院中高等学校では家庭科の授業に組み込んで実施され、型紙を布に写すところから協力して作ってくれました。至誠学園の小学生から高校生の4名は素直に注意を聞いてくれて、思いの外、よいドールが出来上がり、子どもがもつ力は侮れないと感心しました。

なお、キワニス日本地区はドール事業をより充実、発展させてキワニスの顔にすべく、YC (Young Children) キワニスドール委員会を立ち上げ、各クラブも加わって動き始めました。(遠藤由美子)



株式会社ジェーシービー▲

贈呈は  
460個



## キワニス奨学生を例会にご招待 2026.3.27



3月27日例会にキワニス奨学生とその養護施設職員の皆様をご招待しました。奨学生は養護施設卒の大学生、専門学校生ですが、本年度新規2名を含む6名のうち4名が出席しました。冒頭、奨学生から勉学内容や国家試験受験の意気込みなど力強い挨拶と共に当クラブの支援や励ましに対する謝意がありました。卓話には漫才コンビ「オシエルズ」がいじめられた経験やコントなどを披露し、爆笑を誘いました。本事業は会員の寄付を中心に運営されていますが、最後に奨学生から「今日は直接お礼が言えてよかった」との声がありました。奨学生の活躍を祈っております。(矢崎義夫)

## 子ども134名が参加して 夏の子ども食堂を開催 2025.8.2



堀之内学園東京立正で開催、参加者は234名(うち子ども134名)、スタッフは59名でした。メニューは、カレーライス、地域の方々が料理した春雨サラダ、デザートとしてゼリーです。

食事の後、子供たちは遊びコーナー会場へ移動。東京立正短大生による「大型本の読み聞かせと人形劇」、ゆうゆう梅里堀之内による「金魚モビール」、すぎなみ子どもサポートと東京キワニスによる「缶バッジ、団扇作り」、なみさんとBooBaaの方々による「バルーンアート」で楽しいひと時を過ごしました。この繋がりを大事にして今後も子ども食堂を続けてまいります。(雲類鷺孝)



## 子ども達、ボランティアの方々の活躍で盛りだくさんの寺子屋

東京キワノスの寺子屋は、最近ではコンスタントに毎月2回程度実施してきており、トータルでは200回に近づいてきました。参加してくれる子ども達は毎回約20～40名、ボランティアはNPO関係者なども含め約10～20名です。近隣の小学校でボランティア活動に関心のある小学生や、短大の学生が参加してくれた回もありました。

活動内容も、自習と食事だけでなく、ボランティアの方々のご協力で千日紅の栽培やハーバリウム作りなどバラエティーに富むものになってきました。栽培した千日紅は、「千日紅繋和会」主催の「千日紅市」で、寺子屋の子ども

達がお客様へのプレゼントのお手伝いをしました。また、杉並区にお住いの外国人の方々（イラン/インドネシア）と触れ合い、杉並区の文化交流課のお話を聞くなど、「多文化共生社会」の学びを深めた回もありました。

このように、寺子屋はボランティアの方々のご協力と積極的に参加してくれる子ども達によって私達も驚くほどの充実ぶりとなってきました。今後も、地域の方々と協力しながら、子ども達の目線で、よりよい「土曜日の居場所」にしていきたいと考えています。



楽しい時間を  
過ごせました!



## 佐々木信行会員の寺子屋幻想

かれこれ10年ほどこの寺子屋に通っている。ここは自習が建前だが、教えて欲しい目と出会うと、僕の中に眠っている寺子屋幻想が蘇る。それは中学3年間の英語の私塾経験だ。学んだのは発音練習、「素読」と歴史などのお話のみ。だが、これこそが学校では教えてくれない知識と知らない世界に目を開かせてくれたのである。かくして、目の前の子ども達にあの頃を再現してやりたい気持ちに襲われる。いかん、いかん。この寺子屋は家庭でも学校でもない楽しい「場所」を与えることが眼目で、自分勝手な大それた夢は禁物だ。はっと我にかえると、お土産を急かせる子ども達の行列ができていた。ではまた次回、みんな気を付けて。



## 児童養護施設「至誠学園」の自動車部品工場見学会

2025.8.8



初の試みとして、奨学金支給でつながりのある同施設の小学生2名、中学生2名など計10名を東松山市の「株式会社山本製作所（以下Y社）」様本社工場へご案内しました。

正木社長も御一緒にランチの後、ビデオ映像でイメージをつかみ、この日のために作ってくれた資料による説明の時には、みんな目を輝かせて聞き入っていました。そしてヘルメットとゴーグルを付けて工場へ。質疑応答でも質問が相次ぎ、予定時間を約30分オーバーしました。

施設からは「働きの現場を見せて頂き貴重な経験となりました」とのメッセージ、Y社からも「我社も勉強になるので、またいつでもどうぞ」とのお言葉を頂きました。（大久保寧）

## 早春のキワニス旅 ~香川県各地へ~ 2026.2.27~3.1

いまだ寒さが続く中、東京キワニス関係者18名で香川県各地を訪ねました。初日は、高松キワニスの皆さまや、「天体望遠鏡博物館」の村山代表理事もご参加いただき、夕食・懇親会を実施しました。2日目は、瀬戸内海の直島を訪ね、島全体に溢れるアート作品を楽しみました。3日目は、さぬき市にある世界初の「天体望遠鏡博物館」で、歴史的価値のある望遠鏡、家ほどある巨大な望遠鏡に全員で驚愕した次第です。多くの出会いと発見、驚きがあった旅でした。今後も旅企画は、毎年続けていきたいと思えます。(朋政輝樹)



## 新年互礼会 2026.1.8

2026年の新年互礼会は1月8日夕、東京・内幸町の日本記者クラブのホールを会場に非会員のゲストを含め57人が参加して開催されました。まず新年に相応しいおめでたい謡曲を宮越極会員、藤原武平太会員が披露、山田明彦会長の音頭で乾杯しました。



新入会員やご家族、ゲストの紹介、今年84歳を迎える会員ら年男年女のお祝い、クラブ在籍25年のリージョン・オブ・オーナーの表彰と続き、前々日にあった寺子屋(書初め)の様子もビデオで紹介されました。歓談の後、「最強パパ」こと釜谷正宏会員が登壇し、「死ぬまでにやりたいこと」リストに沿ってさまざまな冒険にチャレンジをしている様子を動画で紹介、会員一同、力をもらいました。皆で「子どもに夢を」を歌った後、記念写真を撮り、お開きとなりました。(鈴木健司)

### 金曜昼の例会

第1・3・5週の金曜に日本外国特派員協会で例会を開催、ランチをとりながら識者の卓話を聞き、会員相互の交流を深めています。最近の卓話の講師と演題は次の通り。

- 政井 貴子氏(SBI金融経済研究所 取締役理事(元日本銀行審議委員) / 視野をひらく キャリアとケアの間からみえたもの
- 大野 善弘氏(人間国宝五代目柳家小さんマネージャー) / 五代目柳家小さんマネージャー、大野よしひろが語る戦後80年落語史
- 東 信吾氏((一社)ソーシャルビジネスバンク代表) / 寄付者を幸せにする社会貢献活動
- クリストファー・スピルマン氏(歴史学者 元帝京大学教授) / 『戦場のピアニスト』父の思い出
- 大嶋 英一会員(日本ヴェルディ協会理事)・山元 三奈氏(オペラ歌手、芸大首席卒業ソプラノ)・山下 沙恵氏(ピアニスト芸大院修了) / イタリアオペラの魅力
- 久我 泰博会員(ボランティア活動委員長)・遠藤 由美子会員(ボランティア活動副委員長) / 最近のキワニスドール活動
- 片山 仁志氏(元長崎キワニスクラブ会長、日本地区研修委員長、日本銀行出身) / 植民地化を防いだ天正遣欧使節
- 芹川 洋一氏(日本経済新聞社客員編集委員) / 2026年日本政治の展望
- 藤森 靖允会員 / 英国に魅せられて・松井 洋治会員 / 世界一周旅行で考えたこと
- 伊藤 洋一氏(経済評論家、三井住友トラス基礎研究所首席研究員) / トランプの時代と日本の進む道
- 浅沼 史樹氏(医師(原宿リハビリ病院)) / 医療現場から見た高齢者の心得
- 山田 明彦会員 / 東京キワニスクラブがめざすもの・野儀 健太郎会員 / 子どもミュージカルについて
- 小堀 鷗一郎氏(医師、堀ノ内病院) / 在宅医療と私 ~842名の生老病死~
- オシエルズ(お笑いコンビ) / 進路をひらく~働くことの意味
- 鷲津 名都江(小嶋くるみ)氏(イギリス文学・児童文学研究者、翻訳家) / 世代をつなぐマザーグースの世界

### 国際懇話会

【第105回 2025.11.10】

川上 直人氏(防衛省防衛政策局防衛政策課長) 我が国の防衛政策の現状と課題

【第106回 2026.4.7】

佐橋 亮氏(東京大学東洋文化研究所教授) 米国のいる世界、米国のいない世界一揺らぐ国際秩序と日本の針路

### 新入会員紹介

佐藤 嘉昭(さとうよしあき)  
入会日 2025年12月5日



野儀 健太郎(のぎけんたろう)  
入会日 2026年1月16日



三瓶 佑樹(さんぺい ゆうき)  
入会日 2026年1月16日

名越 隆雄(なごやたかお)  
入会日 2026年3月6日

### 事務局便り

靖國づくめの春でした。3月31日は恒例の慰霊の泉献納記念昇殿参拝、泉の見学、その改修工事の相談。4月3日は桜花の季節御神楽の儀に参列、笛や琴、歌の音色に合わた巫女たちの神楽舞奉納を拝観、続く直会で宮司等皆で神霊が召し上がった供物をいただく。同月23日の春季例大祭は、太鼓の重低音で式典開始、吹奏楽部の演奏で君が代を斉唱し、祝詞奏上、合唱、玉串奉奠などが続き、厳かな雰囲気の中に参拝いたしました。(久我泰博)